

港湾空港局

一般会計要求総額

5,426百万円（前年度比▲12.0%）

特別会計要求総額

11,647 百万円（前年度比▲14.5%）

〔要求の基本的考え方〕

以下の3つの柱を基にして、「元気発進！北九州」プランの着実な実現と、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気なまちづくり！」を確実に具体化していきます。

- 1 北九州港～長期構想「アジア・グリーンポート構想」と「日本海側拠点港」の推進
- 2 北九州空港～利用促進・集客対策と航空貨物拠点化の推進
- 3 港湾整備特別会計～経営健全化の着実な推進



（主な事業）

単位（百万円）

1 北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」と「日本海側拠点港」の推進

北九州港の将来の方向性を示した「アジア・グリーンポート構想」と平成23年11月に選定された「日本海側拠点港」を推進するため、本市の最大の強みである「環境力」と充実した物流基盤が支える「港湾力」により、アジアの国際拠点港湾を目指していきます。

（継続）魅力ある海辺づくりの推進	8
（継続）国際RORO航路誘致事業	8
（新規）グリーン成長産業立地促進事業	18
（継続）太刀浦地区クレーン更新事業	415（債務負担行為 1,010）
（新規）旧大連航路上屋オープニング事業	33
（新規）港湾機能高度化事業	228
（継続）響灘東地区処分場整備事業	79
（チャレンジ枠）北九州市物流拠点化チャレンジ事業	40

2 北九州空港 ～ 利用促進・集客対策と航空貨物拠点化の推進

釜山線の新たな利用者の掘り起こし等、より一層の集客活動を行うとともに、東京線、釜山線に次ぐ新規路線の開拓を行います。また、空港アクセスの利便性を向上させ、空港の利用促進を図るとともに、貨物拠点化へ向け、航空貨物の更なる実績づくりを行います。

（継続）北九州空港航空貨物拠点化事業	132
（継続）北九州空港路線誘致事業	167
（チャレンジ枠）対アジア国際路線強化事業	39

3 港湾整備特別会計 ～ 経営健全化の着実な推進

埋立分譲地の売却不振や地価下落等により、独立採算の維持が困難となっている「港湾整備特別会計」について、平成22年7月にとりまとめた「経営健全化策」を着実に推進していきます。